

「希望」「患難」「祈り」という今年のテーマは、このピリピ人への手紙の学びにおいても具体的に展開されていきます。今朝はそのうちの祈りの中身についてとでもいえましょう。

1. 愛をもたらすもの (1章9節)

- ①私は祈っています パウロにとって、このピリピの教会のことはとりなしの祈りをするたびに喜びと感謝が生まれてくるのでした。それは、ピリピの人々がクリスチャンとしてまっすぐに成長しているからでした。今ここで、パウロは彼らがさらに霊的に成長するようにと祈りを深めていったのです。
- ②愛と真の知識 愛といえば、熱く燃えるようなもので、知識といえば冷たいものといったイメージを持つ人がいるかもしれません。確かに、どうしても良いような知識があるでしょう。私達は知るべきでないことを知りたがり、知らなければならぬことを知ろうとしないことがあります。知識の中には「真の知識」があり、それは愛を豊かにする材料なのです。聖書の知識、主についての知識、教会や宣教の知識は真の知識です。仕事の知識、自然科学、社会科学など、知識の裾野はどこまでも広いですが、真の知識を見失わないようにしましょう。それを吸収すれば豊かな愛(アガペー)へのと結びつきます。
- ③愛と識別力 ものを識別する力というのはとても大切でしょう。愛にとっての大切な要素です。何が大切であるのか、いつ必要であるのか、どんな状況で必要なのか、経過はどうであったか、研究成果はどうなのか。そんなことを短い間に集約して、ことを識別していくというのは容易ではありません。なかなか難しいです。しかし、識別力があれば麗しい関係や結果がもたらされる可能性が高いです。

2. キリストの日に (1章10節)

- ①真にすぐれたものを 選択をせまられたときに、真にすぐれたものを見極めることができれば幸いです。判断に世の欲がからむことがあるでしょう。しかし、世の欲に基づくなら良い結果は得られません(第一ヨハネ 2:15-17)。すぐれたものというのは、すぐには利益にならなくても、得もいえない結果をもたらす、いいには自分の益ともなるのです。
- ②キリストの日 前回も見たように、キリストが再臨されるその日です。いつもその日のことを仰ぎ見つ進むときに、正しい判断が生まれる可能性があります。場当たりの、この世的ではなく、究極的で永遠的なことを見据える心がこの日を覚えることによって与えられるのです。
- ③純真で非難されない 「純真」というのは、誠実、偽りがなく、真剣、表裏がない、といった意味です。「非難されるところがない」というのは、他人から欠点を指摘されにくい様子でしょうか。実際には、このように理想的な霊的実りはなかなか難しいでしょう。しかし、パウロはピリピの教会の人々を信仰の高嶺へと導かんとしているのです。

3. 神の栄光のために (1章11節)

- ①キリストによって与えられる 人間の努力によって、もたらされるのではなく、キリストによって与えられるとあります。三位一体の神のうちの子なる神であるイエス・キリストを通して与えられるとあります。
- ②義の実に満たされている者 「義の実」というのは、いうまでもなく人間のうちからでてくる義ではありません。キリストから与えられる義です。パリサイ人たちは、ここを誤解し、律法遵守努力の結果得られる義ととったのです。ガラテヤ書5章16～23節には、御霊に導かれて歩むことと近いです。パウロは、御霊の実として「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」が挙げられています。
- ③神の御栄えと誉れ このようなキリスト中心の歩みのなかでこそ、神に栄光が表わされていくのです。神にこそ誉れが与えられていくのです。人間は、クリスチャンも例外ではありませんが、自分に栄光や誉れがもたらされるように求めやすいものです。ペンテコステの出来事を思い出しましょう。悔い改めから救いが生まれ、喜ばしい交わりが生まれていったことを(使徒の働き2章)。

《結論》 愛(アガペー)は私達のうちで大きくなるのでしょうか? 「豊かになる」と教えてくれています。それでは、あなたは愛が大きくなることを必要だと考えているのでしょうか? 夫婦、親子、親戚、友人、兄弟姉妹。どの関係を考えても、愛を大きくしていただく必要はありませんか。それにはどうしたら良いのでしょうか。この聖書箇所には大きく二つの重要なポイントが記されています。一つは、真の知識と識別力です。これらが欠けていたので、人を傷つけてしまったと思われることが、私にもたくさんあります。もっと人のことを知っていれば、もっと御言葉の真理を知っていれば、その時に最善のことができたでしょう。最善の言葉や態度や行動ができるかどうかの鍵の一つは霊的洞察力です。もう一つの鍵は義に満たされることです。しかし、それは人間から来るのではなく、イエス・キリストによってこそ与えられるのです。理屈でわかっている、人はもがいて自分の力で解決しようとするのではないのでしょうか。義の実は主からのみくことを覚えましょう。ピリピの教会の上にこれらのために与えられるようにと祈りました。姉ヶ崎キリスト教会とそこに連なる一人一人にも愛と義の実が豊かに実り、人との関係が潤い、神の栄光が現されていきますように。